

取扱説明書

ガス温水床暖房ヌック「はやわざ」

このたびは、弊社商品をご購入いただき、誠に有り難うございます。

ご使用の前に、本書を良くお読みの上、良い状態で末永くお使いください。

また本書中の安全に関する重要な内容については、必ずお守りください。



誤った取扱をされた時に、死亡や重傷など重大な結果に結びつく可能性が大きいものに「△警告」のマークを、
状況によっては、重大な結果に結びつく可能性があるものに「△注意」のマークを記載しております。
必ずご使用時にいつでも読むことができる所に保管をお願いいたします。



性能に関するご注意

共通事項	<ul style="list-style-type: none">■住宅の構造や外気温の条件によっては、補助暖房が必要になる場合があります。■温水式床暖房は、フローリングの下にある床暖房パネルの温水パイプ内に温水を流すことによって床表面を暖めます。そのため温水パイプが通っている部分とそれ以外の部分で、温度に差があります。■床下に断熱材がない場合は、ある場合と比べてランニングコストや立ち上がり時間に差があります。■フローリングは、木質材料を使用しておりますので床暖房使用により、多少の収縮があり部屋の周囲や製品間にスキや反りが発生することがありますのでご了承ください。■床暖房使用時に、「温水の流れる音」や熱による木材の乾燥収縮等から生じる「きしみ音等の床鳴り音」が発生する場合がありますのでご了承ください。■床暖房設置後に接着剤等による臭いがする場合がありますが、数日間経過すれば自然に消えます。
はやわざ戸建住宅用 (フローリング仕上げタイプII)	<ul style="list-style-type: none">■システムの構成上(温水マットのヘッダー部等)や下地の状態により、踏み感の異なる箇所がありますのでご了承下さい。
はやわざ集合住宅用 (フローリング仕上げタイプ)	<ul style="list-style-type: none">■下地の状態により、家具等を設置したときに傾くことがあります。 この場合は、転倒防止等の処置をして下さい。

安全に関するご注意



この表示を無視して誤った取り扱いをされると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをされると、使用者が負傷する可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

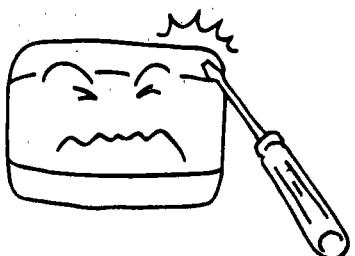


絶対に行わないでください

■床暖房中床面に長時間座ったり、寝そべると比較低い温度でも皮ふ障害を起こす危険があります。特に病人・高齢者・乳幼児・皮ふの弱い方などには、ご家族の方が十分にご注意ください。



■リモコンの取り付け・分解・修理は、お買い上げの販売店または、専門業者に依頼して行ってください。ご自分で取り付けや分解・修理をされ不備があると、発火したり、感電の恐れがあります。



■リモコンを水洗いしたり、濡れた手で操作しないでください。

・感電の恐れがあります。

・故障の原因となります。

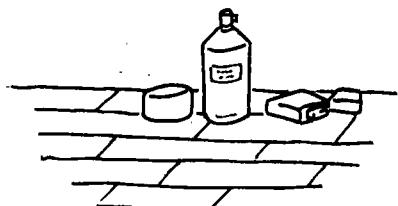
※リモコンをお掃除するときは、ベンジンや油脂系の洗剤は使用しないでください。変形する場合があります。

乾いた布等で拭き取ってください。



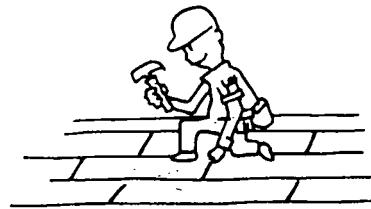
■床暖房の上にスプレー缶やライター等を置かないでください。

・熱でスプレー缶内の圧力が上がり、破裂する恐れがあります。

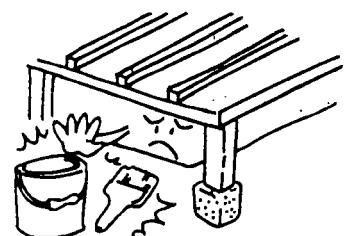


安全に関するご注意

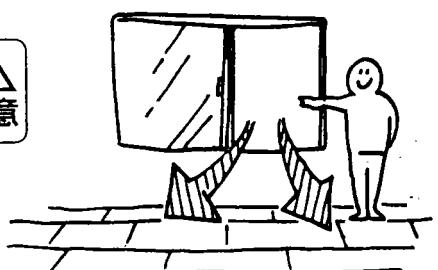
■床仕上げ材を張替える場合には、床仕上げ材メーカー指定工法で施工してください。詳しくは施工店にお問い合わせください。



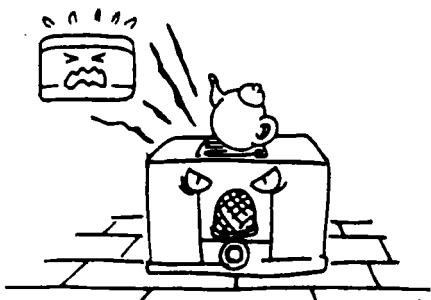
■床下木材の防腐処理をされる場合、床暖房および配管類に処理剤が付着すると処理剤の溶剤によって床暖房の性能が維持できなくなることがありますので、付着させないようにしてください。



■閉め切ったお部屋では、ごくまれに休調が悪くなる場合があります。接着剤や床仕上げ材が原因（ホルムアルデヒド）のひとつに考えられますので、窓を開放し換気を行ってください。（床暖房以外の製品が原因の場合もありますので、床仕上げ材の施工店にご相談ください。）

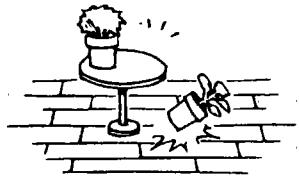


■コントローラの近くで他の暖房器具を使用しますと、熱により故障したりコントローラに内蔵された室温センサーが誤動作することがあります。また、直射日光が当たる場所にコントローラがある場合も同様の可能性がありますので、カーテン等で日光をさえぎってください。

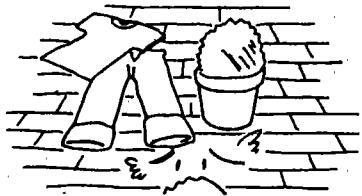


使用上のご注意

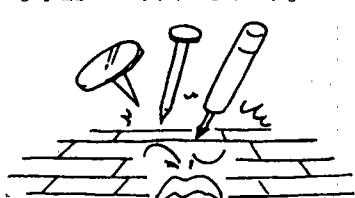
■床へは衝撃を加えないで下さい。
・床が破損し、水漏れの恐れがあります。



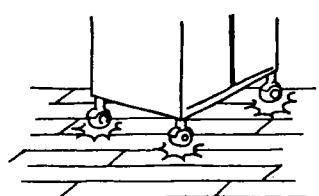
■暖房以外の特殊な用途（例えば衣類の乾燥や動物の飼育、植物の栽培、食品の保存等）には使わないで下さい。



■暖房を設置している床に、突起物（釘・画鋲・きり・裁縫針・ダニ防虫剤の注射針・はさみ等）を刺したりしないで下さい。水漏れの原因になります。



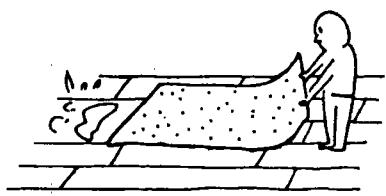
■キャスター付きの椅子や家具および車椅子等の使用は避けてください。傷やへこみ、床鳴り等の原因となります。



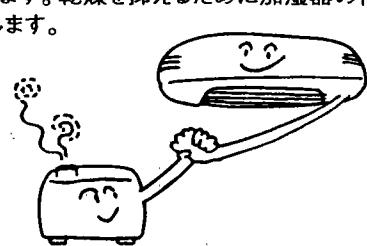
■机やイスを引きずるとフローリング表面に傷をつけることがあります。脚元にフェルトなどを付けて下さい。



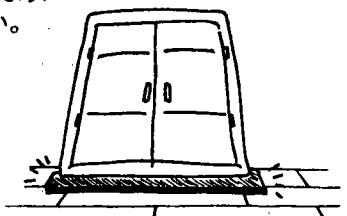
■床暖房のかかっている場所に、カーペット、ゴザ等の敷きものを敷かないで下さい。性能が発揮できない場合や、床暖房の熱がこもって、床仕上げ材がひび割れ、変形、収縮、変色等の不具合が生じることがあります。（ホットカーペットやこたつ、ファンヒーターなどとの併用はしないで下さい。）



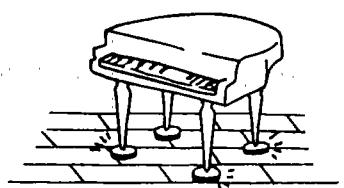
■エアコン等による暖房装置の連続使用により室内が過乾燥になり仕上げ材にスキやヒビワレが生じることがあります。乾燥を抑えるために加湿器の併用をおすすめします。



■床暖房の上に、調度品、家具などを直接置きますと家具等に熱がこもり、ひずみ等が発生する恐れがあります。床表面と家具などの間に空間を設けるようにし、熱がこもらないように配慮して下さい。

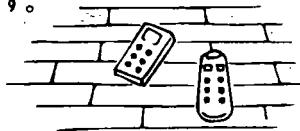


■ピアノなど重量物にはパッド等の緩衝材を敷いて集中した荷重がかからないよう設置してください。床が破損し、水漏れの恐れがあります。

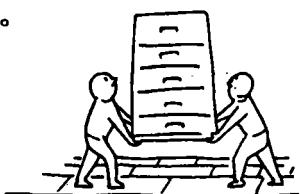


使用上のご注意

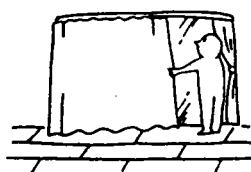
■エアコンやテレビ等のリモコンは長時間置かないで下さい。
・故障の原因になります。



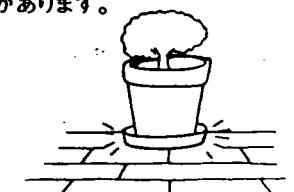
■重たい家具などを動かす場合には、引きずらずに必ず持ち上げて移動するようにしてください。また、椅子等を引きずりますと床仕上げ材に傷がつきます。床と接触する部分にフェルトなどを貼り付けて保護してください。



■フローリングは直射日光に長時間さらされると日焼けによる変色が生じるおそれがあります。カーテンやブランドで直射日光ができるだけさえぎって下さい。



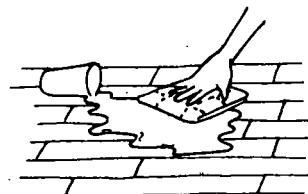
■植木鉢やプランターの下には必ず皿を敷いて、水がフローリングの上に流れないようにして下さい。水が流れるとフローリング表面に、変色やヒビワレが生じるおそれがあります。



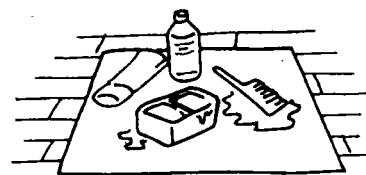
■クレヨン、絵の具等の落書きはシミにならぬうちに家庭用ベンジン等で拭き取って下さい。



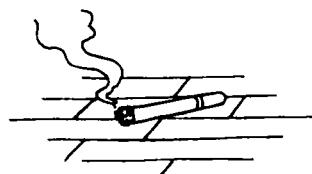
■次のようなものをこぼした場合には床仕上げ材、床暖房パネルの変色など品質を損なう場合がありますので速やかに乾いた雑巾で拭き取ってください。(水、薬品、醤油、ペットの排泄物等)
・常時、水の飛び散る台所や洗面所周辺は、濡れたまま長時間放置しないで下さい。床仕上げ材や床暖房パネルの品質を損なうことがあります。



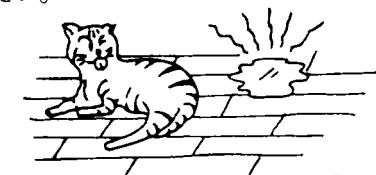
■毛染剤、家庭用パーマ液、靴墨などの汚染はとれません。使用するときは必ず床の上にカバーをして下さい。



■火のついたタバコを落とした場合は、即座に取り除いて下さい。こげ跡がつくとそれなくなります。また、タバコのヤニはアルコールを含ませた布で拭き取って下さい。

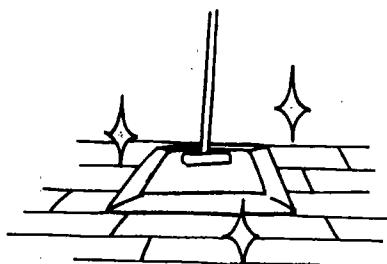


■ペットの排泄物をそのまま放置しますと、水をこぼした場合以上に仕上げ材の美観など品質を損なうことがあります。直ちにかたく絞った雑巾できれいに拭き取って下さい。



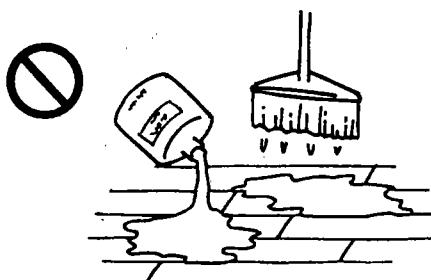
日常のお手入れ方法

■フローリングは、本質的に水気を嫌います。日常のお手入れには、化学雑巾か乾いた雑巾を使用してください。また化学雑巾は水濡れ箇所には絶対使用しないで下さい。床材表面が白化する場合があります。また汚れがひどい場合には水をふくませた雑巾をかたく絞り、ふきとり後乾拭きして下さい。濡れ雑巾を頻繁にご使用になりますと、フローリングの表面にヒビワレが生じる場合がありますのでご注意ください。



■ワックスをご使用の場合は以下の事項に注意して下さい。

☆ワックスは絶対に床の上に直接流さずに、きれいな布に含ませ、しづくが落ちない程度に絞って床面に薄くムラ無く塗りひろげて下さい。ワックスを直接流したり、しづくが落ちるような布で塗ったりすると床材表面の美観を損ねることがあります。



☆室内の温度が5°C以下の時や、雨の日で湿度が極端に高いときは、床の表面が白っぽくなることがありますので、このようなときは、ワックスは使用しないで下さい。

☆床面が十分に乾燥している(水気がない)ことを確認してワックスを塗って下さい。

☆床用洗剤を使用するときは、洗剤分が床に残らいように拭き取ってからワックスを塗って下さい。また洗剤をフローリングに多量にまき散らと製品の美観など品質を損なうことがありますので絶対にしないで下さい。

☆ワックス掛けの前後で化学雑巾は使用しないで下さい。床の表面が白っぽくなる原因となります。

☆ワックスは定期的に市販の水性樹脂ワックスを約3ヶ月に一度掛けることをおすすめします。なおワックスの種類によっては、滑りやくなる場合がありますのでご注意ください。

■ワックスについては以下のものをおすすめいたします。

メーカー名	商品名
(株)リンレイ	オール・フローリングお手入れ用ワックス
コニシ(株)	ゴールドユカ・フロアパック
ジョンソン(株)	床ピカピカ
ベンギン(株)	ベンギンルックス

※ワックスの具体的な使用方法については、ワックスメーカーの取扱説明書にしたがって下さい。

【故障と思ったら・こんな場合は故障ではありません】

こうのよなときには	説明	処置
床面がなかなか暖まらない。	<ul style="list-style-type: none"> 床面が暖まるには床仕上げ材の種類や外気温度、住宅構造等によって変化し、暖房感が得られるようになるには予熱時間が必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> あらかじめリモコンでタイマー運転を設定してご使用ください。(リモコンの設定方法についてはリモコンの運転手順をご確認ください)
床温が上がらない。 室温が上がらない。	<ul style="list-style-type: none"> 室温センサー付きの床暖房リモコンをお使いの方は、リモコンの近くにストーブ等高温になる機器を置かれますと、暖房性能が発揮できないことがあります。 リモコンに日ざしが直接あたる場合にも暖房性能が発揮できないことがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ストーブ等の暖房機器の位置を変更してください。 カーテンで遮へいしてご使用ください。
床面のあたたかさが場所によってちがう。	<ul style="list-style-type: none"> 温水床暖房はパイプ内に温水を循環させて床をあたためており、パイプのあるところとないところでは床面の温度に若干の差が生じます。 	・異常ではありません
リモコンの温度設定を変えないのに床の温度が低くなった。	<p>＜室温センサー付きの場合＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 室温が設定より高い場合には、床面温度を下げる室温調整をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> リモコン設定を上げてください。
床暖房を使用中に音がする	<ul style="list-style-type: none"> 床暖房を使用すると、床面から音がする場合があります。これは、床暖房の熱によってパネル本体および床仕上げ材、床の構造体が膨張・収縮し発生するものや温水の通水音によるものです。 	<ul style="list-style-type: none"> 異常ではありません
床面の足触りが場所によりちがう	<ul style="list-style-type: none"> 温水配管接続部や温水配管部等のため、床面の足触りが部分的に周辺部分と異なることがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 異常ではありません
床表面に凹凸や段差がある	<ul style="list-style-type: none"> 温水パネルの2枚以上の併設時や床仕上げ材や床暖房パネルと周辺パネルの継ぎ合わせ部等には多少の凹凸があるため、光の照らし具合により目立つことがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 異常ではありません
床仕上げ材の継ぎ目に隙間がある	<ul style="list-style-type: none"> フローリングや畳などは天然材を使用しています。耐熱処理や含水率調整をした床暖房用のものを使用していますが、床暖房の熱やエアコンなどの暖房装置の連続使用による過乾燥で素材が収縮し、わずかですが継ぎ目に隙間が生じてしまうことがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 異常ではありません
床仕上げ材の変色	<ul style="list-style-type: none"> 床仕上げ材に直射日光が長時間当たりますと、日焼けによる変色やひび割れが避けられません。 	<ul style="list-style-type: none"> カーテンやブラインドなどで遮るようにしてください。

【異常時の処置】

万一ご使用中に異常な運転音、臭気に気づかれたら、速やかに停止して、大阪ガスまたは大阪ガスサービスショップにご連絡ください。

地震、火災が発生したときには、速やかに運転を停止してください。

水もれ等に気づいたら運転を中止して、大阪ガスまたは大阪ガスサービスショップにご連絡ください。

大阪ガスのお問い合わせ先

大阪事業本部	〒550-0023 大阪市西区千代崎3丁目南2-37	☎ 0120-0-94817
南部事業本部	〒590-0973 堺市住吉橋町2-2-19	☎ 0120-3-94817
和歌山支社	〒640-8033 和歌山市本町1-5	☎ 0120-3-94817
北東部事業本部	〒578-8502 東大阪市稻葉2-3-17	☎ 0120-5-94817
北部事業所	〒569-8569 高槻市藤の里町39-6	☎ 0120-5-94817
奈良事業所	〒631-0036 奈良市学園北2-4-1	☎ 0120-5-94817
兵庫事業本部	〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-8-2	☎ 0120-7-94817
豊岡支社	〒668-0047 豊岡市三坂町6-57	☎ 0120-7-94817
京滋事業本部	〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町1	☎ 0120-8-94817
滋賀東支社	〒522-0074 彦根市大東町12-11	☎ 0120-8-94817

(所在地・電話番号などは変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)

大阪ガス株式会社